

再処理企業協議会

かわら版 さいくる 2015年6月 第14号



構内作業に従事されている皆さまへ、あなたも“再処理企業協議会”の会員です！

今月の担当者



佐竹



秋田谷

2015年(平成27年)5月29日発行
再処理企業協議会 広報部会
〒039-3212
青森県上北郡六ヶ所村大字尾駮字弥栄平1-5
再処理企業センターB棟
TEL(0175)71-2487 FAX(0175)71-2488
URL <https://www.saisyori-kigyokuyogikai.jp/>



再処理企業協議会

本格的な夏前の新緑の季節になってまいりました。

2015年度 特別会員総会 定例会

4月16日(木)再処理企業協議会 特別会員総会が、再処理企業センター(X15)会議室で開催されました。

開会にあたり、当協議会大内会長が挨拶され、昨年度は事業計画通りに進められたこと、および再処理企業協議会への積極的な参加をお願いしました。

また、三菱重工業(株)大内会長から(株)東芝吉本会長への交代が承認され新体制で再処理企業協議会を運営することとなりました。



総会・定例会の風景



大内前会長



吉本新会長

再処理事業所紹介 再処理計画部

再処理企業協議会の皆様、いつもお世話になっています。再処理計画部長の中村です。今回は、協力企業と再処理計画部の関係や再処理計画部の業務について紹介します。

再処理計画部の業務のうち、協力会社の皆様と直接関係するのは、再処理事業部役員の秘書業務や、最近では新規規制基準対応があります。また、かつては再処理企業協議会の発足事務局、エンジニアリングセンターの前身(技術Gr)で新增施設の設計およびガラス固化技術開発(X14、新型炉)に関する業務を行っていました。

その他、直接関係しませんが、営業(電力窓口、再処理役務契約)、経理(予算と執行管理)、企画(事業計画、国県村対応)、立地広報(市町村議会での対応)、人事(事業部内人事、要員計画)、新規重要案件(新規規制基準など)の業務を行っております。

ともに成長し発展すること、そのために、双方忌憚なくコミュニケーションができる環境を作り上げていくことが一番大切なことだと思っております。

なんでもありの部署なので、いつでも声を掛けていただければと思います。



再処理計画部
中村部長

防護服着用弁保修訓練

4月は管理区域の防護服を着用しての保修訓練が実施されました。

管理区域防護服着用保修訓練

日時: 4月22日(水) 9:30~17:00 参加者: 6社 9名

場所: (株)ジェイテック 技術・訓練センター

講師: (株)木内計測 西ノ明殿、木内殿

三和テクノサービス(株) 藤原殿

訓練風景



参加された方々は、視野の狭さ、動きづらさ等を体験して、今後作業を行うに当たって事前の工事計画及び今回行った等の訓練を行うことが大切と実感しました。

今後の安全作業に生かして頂きたいと考えています。

日本原燃株式会社 品質保証大会

4月2日(木)再処理事業所構内 体育館において品質保証大会が開催されました。

工藤社長より大会の挨拶、今年度の品質方針が発表され、方針の5項目は継続、また各事業部より品質目標が紹介され、日本原燃(株)埋設事業部 低レベル放射性廃棄物埋設センター 神田センター長代理による決意表明と、協力会社代表として、三菱重工業(株)大内所長より協力表明が発表されました。

最後に参加者全員で、品質方針5項目の唱和を行い原子燃料サイクル確立に向けてしっかりと取り組んでいくことを誓いました。



「品質方針」

1. 安全を最優先する
2. 法令およびルールを遵守する
3. トラブルおよび不適合の未然防止を図る
4. 迅速な通報連絡および積極的な情報公開を実践する
5. お客様の期待に応える

【お知らせ】

第2回 各社対抗ダーツ大会

6月15日(月)~19日(金)に再処理企業協議会主催の各社対抗ダーツ大会を開催致します。日頃の運動不足(?)ダーツの腕前(昔取った杵柄?)を發揮してみても如何ですか。団体戦(会社対抗)、個人戦を行いますので皆さんの奮った参加お待ちしております。

第2回 再処理企業協議会杯ゴルフ大会

7月11日(土)下北スリーハンドレッドゴルフクラブにて再処理企業協議会杯ゴルフ大会を開催致します。会員及び企業間の更なるコミュニケーションの場と新緑の青空の下でプレーを行ってみませんか。締め切りは7月3日(金)となっておりますので奮ってお申込み下さい。



編集後記

最近、何かと話題の箱根は、私が生まれ育った場所と目と鼻の先である。そこで箱根に思いを寄せて一言言わせて頂きます。箱根は、そこに集う多くの人たちで作り上げたいわば巨大なテーマパークである。箱根を訪れることに加え、箱根の歴史に関する資料を丹念に読み漁ってみると良く分かる。

ある方が述べたことを引用すると、箱根は江戸時代から続く東海道の有名な関所であり、その歴史は古い。しかし、明治時代以降、箱根は地元民の協力と外部の人間の多大なる力によって、首都・東京のリゾート地として大きく飛躍してきた。そこには多くの財界人、文人、外国人などとの繋がりも生まれた。変化を恐れずに進化し続けること。これが日本一の街道・東海道の誇りであり、その安息地である箱根の誇りである。心地よい湯に浸かっていると、箱根が昔から愛され続ける理由がわかる。

今は、箱根山(大涌谷)の火山活動が活発になったことから箱根周辺への観光客の足が遠のいている。私の気持ちは、早い終息及び安心して観光できることに願いを馳せている。